

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本国

【据置】

外貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

■格付事由

- 格付は、多様で高度に発展した経済構造、対外ショックに対する堅固な耐性、多額の家計貯蓄を背景とした国債の国内保有構造などを評価しており、こうした要素は当面維持されるとみている。インフレ率は目標の2%近傍で推移する一方、経済は緩やかな回復を続けており、長年続いたデフレ経済から脱却しつつある。米国が保護貿易政策を強化した場合に輸出産業が影響を受けるリスクはあるが、今後も内需を中心に底堅い成長を続けるとみている。政府は経済再生と財政健全化の両立を図る姿勢を堅持している。以上より、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 23年度の経済は、インバウンド需要の回復など外需の増加が後押しとなり、名目GDPの実額は前年度比4.9%増の595兆円と過去最高水準に達した。実質GDP成長率も0.7%と底堅かった。個人消費は物価上昇の影響により足踏みがみられるが、好調な企業業績を背景に設備投資も回復をみせており、24年度以降も緩やかな成長を続けるとJCRではみている。国債の国内保有割合は緩やかに低下しているが、依然9割近くが国内で保有されている。経常黒字を続けており、対外純資産残高は世界最大。銀行システムも引き続き安定している。
- 23年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支赤字（復旧・復興対策及びGX対策の予算を除く）はGDP比2.9%程度（22年度3.5%）、国及び地方の公債等残高は同204.6%程度（同211.0%）と前年度からの改善が見込まれている。ただ、JCRが格付するAAAのソブリンと比較可能な一般政府債務残高のGDP比をみると突出した状況にある。これまで政府は25年度のプライマリーバランス黒字化、政府債務残高GDP比の安定的な引き下げを目標としてきた。24年6月の骨太の方針でも、歳出構造を平時に戻すとともに、財政健全化の「旗」を下ろさずにこれまでの財政健全化目標に取り組むことが確認された。25年度の予算も骨太方針に沿って編成する方針である。ただ、足元の税収は堅調だが、少数与党のもとでの政権運営に野党協力が必要となる中、24年度補正予算案が一般会計総額で約13.9兆円に上るなど歳出構造の平時化に向けた道筋は不透明である。JCRでは財政健全化に向けて実現可能性の高い道筋を示し、財政運営への信頼を堅持することが重要と考えている。また、財政政策が物価や金利に与える影響についても留意が必要と考える。

（担当）増田 篤・堀田 正人

■格付対象

発行体：日本国（Japan）

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AAA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年12月13日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：増田 篤
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本国 (Japan)
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明
 - ・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
11. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル